

Phu My 3 Specialized Industrial Park

日鉄住金物産株式会社
インフラ事業推進部



1

なぜ今ベトナムなのか？

- 1 - 1 事業展開先としてのベトナム。
- 1 - 2 今後のベトナムで何が起こるのか？
- 1 - 3 なぜベトナムなのか？
 - (1) 投資環境の魅力
 - (2) 消費国としての魅力
 - (3) 製造拠点としての魅力

2

Phu My3（フーミー3）特別工業団地とは？

- Phu My3社概要
- 工業団地概要・魅力

1-1 事業展開先としてのベトナム

投資対象国としてのベトナムはタイを抜き去り過去5年間で最高の得票率を獲得。
安定した政治・社会情勢の下、新たな消費国として注目度が増している。

今後3年間における有望事業展開先国

順位		国・地域名 (計)	回答社数(社)		得票率(%)	
2016	← 2015		2016	2015	2016	2015
			483	433		
1	—	インド	230	175	47.6	40.4
2	—	中国	203	168	42.0	38.8
3	↓	インドネシア	173	168	35.8	38.8
4	↑	ベトナム	158	119	32.7	27.5
5	↓	タイ	142	133	29.4	30.7
6	—	メキシコ	125	102	25.9	23.6
7	—	米国	93	72	19.3	16.6
8	—	フィリピン	51	50	10.6	11.5
9	↑	ミャンマー	49	34	10.1	7.9
10	↓	ブラジル	35	48	7.2	11.1
11	—	マレーシア	33	27	6.8	6.2
12	↑	シンガポール	23	20	4.8	4.6
13	↑	台湾	22	16	4.6	3.7
14	↑	ドイツ	20	14	4.1	3.2
15	↓	ロシア	17	24	3.5	5.5
16	↓	韓国	15	17	3.1	3.9
17	↓	トルコ	12	17	2.5	3.9
17	—	カンボジア	12	14	2.5	3.2
19	↑	オーストラリア	11	4	2.3	0.9
20	↑	イラン	8	3	1.7	0.7

有望事業展開先の理由

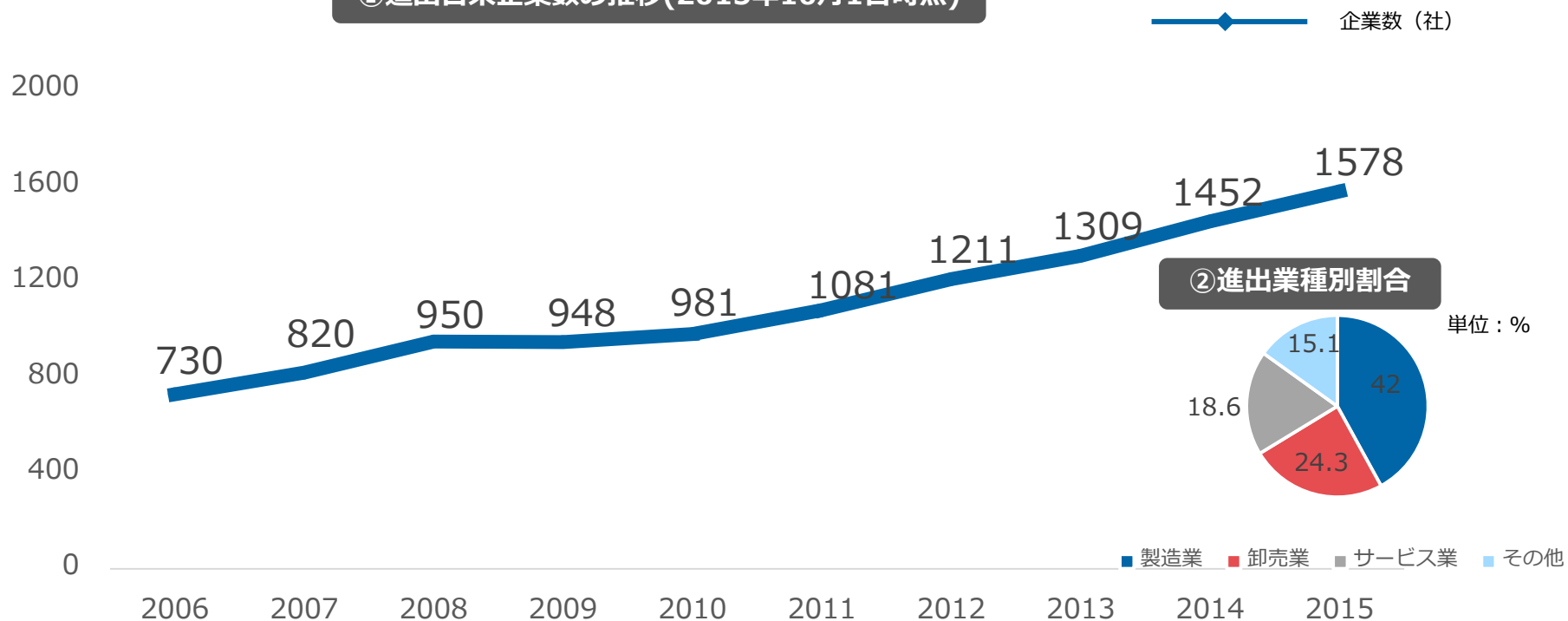
	社数	比率
(回答社数計:154社)		
1 現地マーケットの今後の成長性	115	74.7%
2 安価な労働力	65	42.2%
3 現地マーケットの現状規模	30	19.5%
4 優秀な人材	27	17.5%
5 政治・社会情勢が安定している	26	16.9%

出典：JBIC：海外直接投資アンケート（第28回）

1-2 今後のベトナムで何が起こるのか？

9,200万人の人口を背景に近年ではサービス産業の進出に軸足も、タイ、インドネシアと比較してまだまだ安い人件費を活かし製造業の進出もつづく。
ハノイ、ホーチミンの2大経済圏の消費ニーズを取り込む事業展開が活発化。

①進出日系企業数の推移(2015年10月1日時点)



外務省「海外在留邦人数調査統計」、株式会社帝国データバンク「ASEAN進出企業実態調査」 参照

ベトナム投資の三大メリット



(1) 投資環境の魅力



(2) 消費国としての魅力



(3) 製造拠点としての魅力

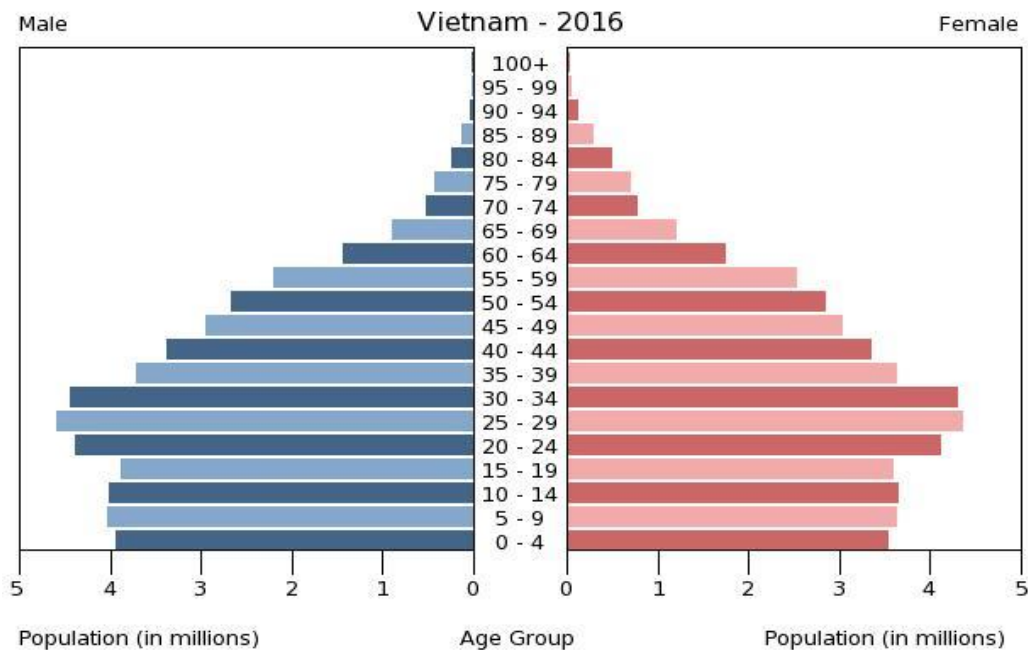
(1) 投資環境の魅力

- 中国、インドネシア、タイと比較して安い労働賃金。休日が多く時間あたり労務費は低い。
- 平均年齢30歳と働き盛り世代が多く、60%は地方都市在住で潜在労働人口に期待。
- 勤勉で勉強好き、手先が器用で職人仕事に向く、という特徴があり物づくりの地として有望。

各都市でのワーカー平均賃金及び賃金上昇率

都市名	月間賃金(US\$)	過去10年間の 上昇率(%)
ホーチミン	193	14.2
ハノイ	181	26.6
バンコク	348	112.2
ジャカルタ	257	44.4
深セン	435	37.7

35歳未満が全体の60%



CIA: The World Fact Book参照

三菱東京UFJ銀行「アジア・オセアニア各国の賃金比較(2016年5月)」(2016年5月11日発行) 参照

(2) 消費国としての魅力

国内市場

- ホーチミンの1人あたりGDPは5,300ドルとタイと同等レベル、ハノイも3,000ドルと言われておりインドネシアに匹敵。都市部における消費に大きな期待。
- ベトナムの中間層は2020年には50%、2030年には70%まで増加見込み。中間層、富裕層は増加の一途。

■ベトナム全土
一人あたりGDP : 2,171ドル
(2015推定)

■人口(2015) : 91.7百万人

■経済成長率 : 6.7% (2015推定)

IMF World Economic Outlook 参照

2大都市に経済は集中



(3) 製造拠点としての魅力

立地

- 東南アジアの中心、メコンデルタへの出発点として強固な物流網。
- 日本のみならず、欧米への航路も存在。



カイメップチーバイ国際ターミナル

→ アジア： 週7便

→ 北米： 週7便

→ 欧州： 週2便

の海上定期船が存在。

陸続きのアジア諸国へは陸上郵送も
発展。

2 Phu My (フーミー) 3 とは？

Thanh Binh Phu My Joint Stock Company 社 概要

設立	2007年設立の100%ベトナム資本
本社	Ba Ria Vung Tau省, Vietnam
主業務	1. 工業団地開発・運営
	2. 賃貸工場開発・運営



2. フーミー3 特別工業団地ロケーション

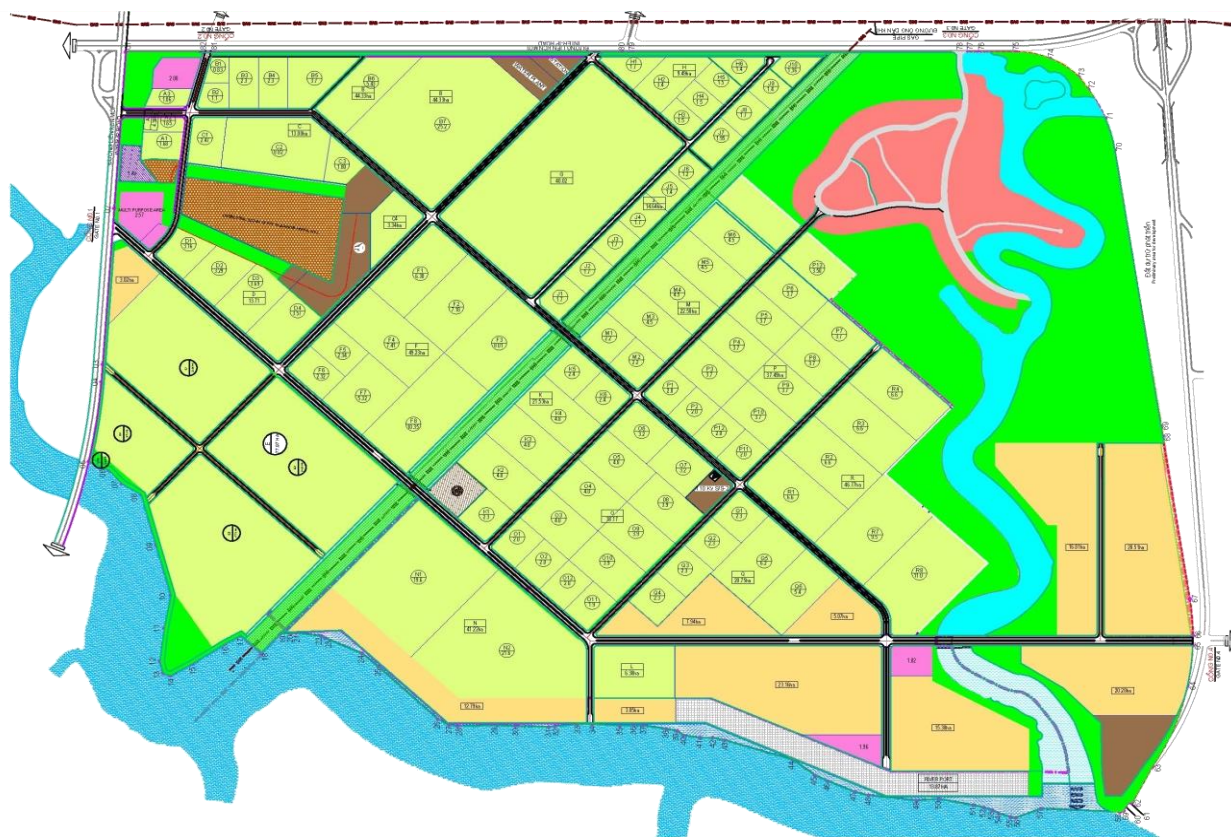
1. ホーチミン市内から60キロ／高速道路経由で45分の利便性。
2. アジア各国、北欧米への航路を持つホーチミン最大深海港から4kmと物流に最適。
3. ホーチミン（ロンタン）新国際空港（予定）へも30km圏内。



2 フォーミー3 特別工業団地の魅力 その1

1. 南ベトナムで唯一の「特別工業団地」に指定。土地リース期間が70年に拡大 (※1)
土地使用料も工業団地操業後20年間免除。
2. 充実の基礎インフラを完備。水、電気を多く利用するお客様に最適。

(※1) フォーミー3は2007年に工業団地ライセンスを取得しており、2077年までの61年がリース期間



①電力

工業団地内に変電所あり。22kvにて地下埋設電線を通じて供給。

②工業用水

水道公社より日量5万 m^3 供給。将来的には10万 m^3 の供給が可能。

③港湾・物流

フェーズ2開発時には1万トンの船が接岸できる港を建設し、日系物流会社を誘致。

2 フォーミー3 特別工業団地の魅力 その2

工業団地設計からインフラサービスまでオールジャパン。日々の操業も安心！

工業団地設計

ベトナム内日系工業団地の設計・施工管理で実績のある日本工営に詳細設計・施工管理を委託。

廃水処理

神鋼環境ソリューション設計・建設の廃水処理場はバリアブントウ省で一番厳しい基準で処理。

天然ガス

日系唯一の天然ガス取扱い会社である双日が団地内に天然ガスパイプラインを通じて、月間10M nm³ – 15M nm³の供給が可能。

インターネット

団地内に光ファイバーを埋設。KDDIよりネットワーク構築～運用までトータルサポート。

日鉄住金物産株式会社（フォーミー3特別工業団地販売代理店）のご紹介

1. 新日鐵住金系商社による安心のサポート体制。
2. タイにて最大級の日系工業団地「ロジャナ工業団地」を1988年より開発・運営。
3. 25年以上の工業団地事業経験に裏打ちされた信頼性ある情報のご提供。
4. メキシコにおいても工業団地販売代理を展開中。



新日鐵住金グループ傘下で鉄鋼のみならず、繊維、食糧、インフラ事業と幅広く展開中。



タイ国内6か所にて工業団地を開発・運営。総面積3,500万㎡以上、入居客数240社以上の国内第3位の団地開発事業者。
日鉄住金物産が21%強出資。



メキシコ中央高原にて9か所の工業団地を開発・運営。総面積2,300万㎡以上、100社以上の日系企業が入居中。
2017年より日鉄住金物産にて販売代理を開始。

日鉄住金物産(株)
インフラ事業推進部

〒107-8527

東京都港区赤坂八丁目5番27号

TEL:03-5412-5188